

加茂高生 80 名がミニ教育実習に参加しました

3月17日(月)から19日(水)の3日間、加茂高校の生徒80名が古井小学校と東中学校においてミニ教育実習に参加しました。生徒たちは、小学生や中学生と触れ合い、教えることの楽しさや大切さ、教師の在り方などを学び、充実した体験をすることができました。

実習に参加した生徒からは、以下のような感想が寄せられました。

- ・子供たちが毎時間「ありがとう」や「おねがいします」、「先生来て」と声をかけてくれて本当にうれしかったです。先生という仕事はすごくやりがいのある仕事だと改めて実感しました。
- ・先生の仕事は、思ったより大変で体力のいる仕事だと実感しました。実際に授業をしてみると、なかなか難しく思うようにはいきませんでした。一人ひとり問題を解く速さや学力も違うので、その子に合った対応ができるように工夫しなければならないことを学びました。
- ・子供たちの様子を見ながらアシストするのが自分の役目でした。音楽や図工など最初は「できない」「わからない」と言っていた子供たちが、自分が教えていくうちにどんどんできるようになっていった姿を見たとき、すごく喜びを感じました。今回の実習を通して教師になりたいという思いがより強くなりました。
- ・東中学校は自分が通っていた中学校とは異なる部分が多く、すごく良い経験になりました。中学生たちは集中力がとてもあって、活発で若々しさを感じました。自分が先生側の立場になって分かったことは、生徒から話しかけられなかったり、質問がなかったりすると寂しいので、積極的に授業に参加しなくてはいけないということです。
- ・最後に子供たちがたくさんの手紙をくれました。そこには「いい先生になれます」とか「学校苦手だったけど好きになれました」などの言葉があり、本当にうれしかったです。すてきな古井小学校のみんなに出会えてよかったです。

